

閑上地区まちづくり協議会 世話役会(147) 議事録

日 時	平成 30 年 8 月 28 日 (火) 18:30~20:30
場 所	名取市復興区画整理課会議室 (仙台法務局名取出張所 2 階)
出席者	世話役 : (代表) 針生勉 (副代表) 阿部ひで・今野義正、(事務局長) 今野慎介、千葉洋子、宇佐美、出雲 (事務局) コンサルタント 2 名
オブザーバー	市職員 震災復興部 3 名 マスコミ 1 名
議 題	0. 事前確認 1. 情報共有 2. 閑上地区のまちびらきに向けて 3. その他
資 料	資料-0 次第、第 146 回世話役会議事録案 資料-1 閑上地区まちびらきメモ 資料-2 プレゼン募集要項、プレゼン申込用紙 資料-3 水辺 de Café&Bar チラシ 資料-4 第 1 回閑上地区まちびらき実行委員会の開催について 資料-5 10 月 1 日県道開通箇所

○ 協議要旨

0. 事前確認について

<議事録確認>

- ・ 第 146 回世話役会議事録は、一部修正して確定することとした。

1. 情報共有

<名取市からの情報提供>

→ 県道の切り替え予定や住民有志の会及び集会所の検討について日程等の話があった。

<世話役からの情報提供>

- ・ 特になし

<前回からの動き>

- ・ 特になし

<今後の動き>

- ・ 水辺でバーベキュー&カフェの開催概要が報告された。

2. まちびらきに向けて

・ まち協で企画したプレゼン大会の概要を市で主催するまちびらき実行委員会に提案し、実行に向けた活動の第一弾とする。まちびらき実行委員会での反応を踏まえて、今後の活動方針を再確認することとなった。

3. その他

- ・視察依頼があったことと、降雨時の現地対策の必要性について意見があった。

<次回世話役会>

- ・次回世話役会は9月4日（火）とする。

次回予定:世話役会(148)9/4(火)18:30～ 名取市震災復興部会議室

以下、世話役会の主な意見について記載する。

0. 事前確認

資料-0 第146回世話役会議事録案

<議事録の確認>

- ・第146回世話役会議事録は、一部修正して、確定した。

1. 情報共有

<名取市情報提供>

→県道切り替えについて資料を説明、関上港線全線の暫定開通は12月11日を予定、県道相互の交差点については、本線工事のため暫定となっている。学校への通学路については、北側の歩道を使用してスムーズに通行できる予定、交差点の集約に伴い県道の渋滞改善に資する予定である。(市)

- ・通行止めはあるのか？

→信号の切り替え時について少々あるが、基本的にはない。開通時間は、9時から10時の予定である。(市)

→8月25日に中央第二団地の住民有志の会で交流会を行った。尚綱大学や神戸市の学生の研修のためボランティア参加もあり総勢60数名参加した。集会所については、まもなく完成予定で、名称については関上中央集会所とした。開所手付きを進めている。西集会所のワークショップも9月13日に予定しており、2020年春開所予定である。復興だより9月号にワークショップの記事を掲載し、周知する予定。その前に西側で9月2日に小中学校のエントランスモールで交流会開催予定であり、事前に150世帯ポスティングした。時期が立ったのであらためて8月29日に全戸にポスティング予定である。9月29日には中央集会所開所式を予定しており、住民主体で式典の企画中である。(市)

<世話役情報提供>

- ・特になし

<前回からの動き>

- ・特に報告なし

<今後の動き>

・水辺でカフェ&BQ については、カフェの内容がまだ未定であり、バーベキューは仙南ガスと調整中で実施予定、そのほかの詳細は検討中であり、特に、当日中止のお知らせについては、まち協の携帯を連絡先としてチラシに掲載した。場所は、水産加工団地の北側でやる。堤防内では火が使えないので、その場所でやる予定、堤防内には入れる場所はあるが、ある程度制限される。当日は、アドバルーンを上げる予定。バーベキューの食材は購入してもらう。いろんな団体の紹介ブースを設置予定で、サイクルスポーツセンターなども案内もしたいと考えている。詳細な協議は、31日に調整する予定。シラス祭りが中止なら自動的に中止となる。

2. まちびらきに向けて

→市で主催するまちびらき実行委員会を 30 日夕方開催予定で、まち協、上町町会、閑上中央第一団地自治会、閑上中央第二団地住民有志の会の 4 つの住民団体に、かわまちテラス、水産加工団地組合、みなと朝市、物産協会、漁協、パナソニック、閑上小中学校、尚綱大学、仙台高専、宮城学院女子大の参加を予定している。加えて、イオンモール名取の参加を調整中である。その場では、参加者から意見を聞く。会長は互選予定であるが、事務局からまち協会長を推薦予定である。(市)

・副代表も？

→その予定です。(市)

→まちびらきプレゼン大会の資料を事務局が説明(事務局)

・記載されている報奨金という表現はイメージが違うと思う。

・プレゼンのための検討作成費用手当がでますでよいのでは？

→大会の規模感も重要だと思っている。文化会館の会場が予約で 10 月中はいっぱいなので、場所が確保しづらい。(事務局)

・会場は閑上小中学校でいいのでは？

・内容だが、できるだけシンプルのほうがいいのでは？プレゼン大会の意味は、実行委員会への多様な意見を提案してもらうことだろう。プレゼン内容としては、まちびらきを盛り上げて再スタートするために知恵を欲しい、その提案がほしいということが目的だろう。その合同の会議としてプレゼン大会を実施するという事だろう、提案の内容としてすばらしいまちづくりについての提案を求める。

→将来のまちづくりについてもイメージしてほしいということを提案内容に加味してほしいと考えている。(事務局)

・閑上の将来について、こんなイメージを目指したものという考え方を踏まえながら提案してもらわないと、どうでもいいことまで出てしまう。ただ、(イ)をテーマとするとやり切れないだろう。

・閑上を動かす団体が主流なので、味がある、楽しい、将来目指した知恵を出してほしい、若い力を示してほしい。経費についての一部を補助するという事で、プレゼン大会であるというシンプルなものでいいだろう。

・まちびらきは、市が主催で行い、住民も主体的にかかわっていくことの一つの企画を出してほしいとのことだろう。重くならないような説明のほうが良い。

・プレゼンのメインが将来像ではむずかしいだろう。

・的を絞ったものではないと難しいだろう。いろいろな意見をまとめて、実行委員会へ提案するという

ことでいいのではないかと思う。

・実行委員会において、説明時にわかりやすくすることもありえる。プレゼン内容についても、まちびらきにふさわしい企画提案を求めるということでいいだろう。

→参加団体は委員会に参加しているので、まち協がコーディネートとするのは、難しいだろう。(市)

→全体としての企画なのか、自分のブースの企画なのか、わかりにくい。メッセージある企画なのか、部分的なものかはっきりさせたほうが良い。(市)

・まちびらきでなにをやりたいかを提案してもらったほうがいいのでは？

・一部分の提案でもいい、繋げることは別に考えればいい。

・いいものを抽出して総合化する方向でいいのでは？

・全体を連携するようなイメージを持たせることは重要だろう。

→個別にできることを提案してもらい、抽出するなりしたほうがいいのでは？(市)

・行政に納得してもらえない規格でないと現実味がない。言いすぎると面白くなる。

・団体と一対一でやればいいのだが、時間もないかもしれあい。

→参加団体でぬけている団体はないか？企画提案までフォローする担当世話役をつけたい。(事務局)

・企画の評価は、実行委員会がやればよい。経費について助成するのはまち協、実際行う際の予算は市に認めてもらう範囲となるだろう。

→提案された企画の実行に向けた話は、実行委員会で整理することになる。(市)

→アイデアをもらって、実行できるかどうかを世話役でもむとかが必要だ。(市)

・企画提案やイベントに参加する機会の少ない団体もあるから、ぜひ、意見を聞くべきだろう。

→固まった企画だと難しいかもしれない。(事務局)

・助成金に用途として、まちびらきのイベント企画が助成金の目的にも合致している。各種団体を巻き込むことが必要、まちびらきに住民の足跡をつけ、かつ、企画を継続的に進めるためにもアイデアが欲しい、そのためのプレゼン大会としたい。

・まちびらき以降も継続的に活動やイベントとして残っていくようなものを導きだしたい。

→時間的には、8月30日に委員会で、プレゼン大会の実施が認められれば、1か月が提案期間となり、10月中にプレゼン大会を開催し、委員会へ提案するという流れだろう。(事務局)

・まち協が実行委員会に参加する際に、まちびらきの内容について、プレゼン大会を開催し、アイデアを吸い上げていくことを伝えることだろう。

→実行委員会に情報提供という形で示せばいいのでは？(市)

・プレゼン大会の企画は、まちびらきの一部だろう。実行委員会は全体の企画だろう。

・イオンだけでなく、伊藤チェーン等にも声がけも必要では？

・誰を実行委員会のメンバーは行政が構成するが、意見は参考にしてほしい。

・閑上に固執しすぎると問題かもしれない。名取市を代表とする企業には声がけするのは当然だが、進出予定の企業への声がけも当然だが。

→進出前の企業の参画はいろいろ企業の都合で様々な思惑があるかもしれない。(事務局)

・メンバーにするかどうかはそれぞれ対応してほし。

・実行委員会の次回は9月末だろう。数が足りないような気がする、スケジュールが厳しいだろう。

・実行委員会の賛同が必要だろうから、時間的には1か月伸ばして考えるべきかもしれない。

- ・各参加団体とのコーディネートが必要だろう。時間はあるのか疑問だ。
- ・説明会も必要だろう。

→実行委員会がプレゼン大会をするのか？（市）

- ・まち協でプレゼンして、聞いてみて、実行委員会に出すということか？
- ・実行委員会で取り扱うのか、評価をまち協でもんでいくのか検討が必要だ。
- ・まち協が集約化して委員会に出すこともあり得るし、実行委員会で評価することもあり得る。
- ・柔軟に対応すればいいのでは？
- ・実行委員会で開催してもらほうがより実効性が伴うものとして提案しやすいのでは？

→考えていることを表現することと、実際その内容を実現することが結び付くかどうか疑問だ。（市）

- ・実行委員会は月1回程度の会議だろう、もっと密な検討も必要では？
- ・実行委員会の枠組みやゴールが見えない。市が何を求めているかも。
- ・市に対して今の意見を率直なところぶつけるのでいいのでは？水辺リングもそんな雰囲気であり、人集めに対しても、参加する団体が自主的に行うことが自然と進むということもある。
- ・どういう世代に対して、何を求め、提供するのがまち協の役割であり、高齢者や子供に対しても幅広く関係してほしいと活動するのも役割だし、そのための集まりであることを認識してもらうことが必要だろう。

- ・資料の中に提案の内容の例示が必要では？要綱に書いてあるほうが分かりやすい。
- ・例示もまち協の意向を反映したものでいいと思う。
- ・事務局も実行委員会当日参加してほしい。
- ・資料を修正して実行委員会にだせば、それでよい。
- ・内容についても検討中であるとの話でもよい。
- ・1回目だから、参加者もまだはっきりしない会議で各団体の意識がバラバラだろう。
- ・まち協で検討してきた流れでいいのでは？
- ・事務局で資料を修正して、実行委員会に提案する。

3. その他

- ・視察依頼が2件来ている。今週の9月1日は、世話役が午前中対応する。

→福島からの要請もあり、内容が固まったならまた報告する。（事務局）

- ・水没箇所があるので、リスク管理をもうすこし対応してほしい。市役所対応ができないなら住民への依頼でもいい。
- ・異常気象への対応はこれから重要となる。

→1時間15mmの降水量で3時間連続すると水が抜けなくなる。対策を検討している。（市）

- ・通学路になっているものなので、築港線と南北線の交差部は危険だろう。
- ・通学路の変更についても、市庁内で調整して適正な対応をしてほしい。

<次回世話役会>

- ・次回世話役会は9月4日（火）とする。

次回予定:世話役会(148)9/4 (火)18:30～ 名取市震災復興部会議室